

ソーシャルビジネスに関する勉強会について（令和元年6月17日）

○平成30年3月に北海道財務局が立ち上げたソーシャルビジネス研究会では、同年に講演会やシンポジウムを開催してきた。今般、クラウドファンディングについて事例研究している講師をお招きして、資金を提供する側、提供してもらう側の両面からそれぞれの行動原理について検証してみたいとの考えにより開催に至ったもの。構成メンバーに呼びかけ、一般の方にも参加募集を募ったほか、当局の職場研修も兼ねて実施したことにより、合計72名が参加した。

○東京都市大学中村教授による「クラウドファンディングをめぐる支援ネットワークの構築」と題した講演。クラウドファンディングの研究成果と、当該研究成果を受けたその考察などの説明がなされた。

＜ソーシャルビジネスに関する勉強会＞

- ◆開催日 令和元年6月17日(月) 13時30分～15時00分
- ◆開催場所 札幌第1合同庁舎 2階講堂
- ◆参加者 72名（地方自治体、地域銀行、政策金融機関、北海道信用金庫協会、シンクタンク、大学等教育機関、民間企業等）
- ◆（演題）「クラウドファンディングをめぐる支援ネットワークの構築」
（講師）中村 雅子氏（東京都市大学メディア情報学部 教授）

【主な意見】

- ✓数字から分析していく貴重な資料だった。また、様々な局面が見えてとても参考になった。
- ✓必要な情報を送り届けることにより支援いただきたいと考えていたので、支援者の行動傾向調査はとても有意義だった。
- ✓地域課題の解決ツールとして有効なツールであると同時に提案者の利用するハードルが高いと思われることから、普及を広げていくためには提案者の層をもっと広げることにより寄付文化がより根付いていくと思う。
- ✓地域特化型のクラウドファンディングの事例を具体的に知りたかった。

